

# 災害への備えが大切です



9月1日は、「防災の日」です。

この日は、関東大震災（一九三三年）が発生した日です。この震災を教訓として、国民に地震・津波・台風などの災害について認識を深めてもらうことを目的に一九六〇年に制定されました。

近年は、地震・台風・大雨災害の発生により、国内で多くの被害が発生しています。当市でも昨年10月、低気圧

により市内で浸水や住家の一部損壊など多くの被害を受けました。また、昨年11月と今年1月には二度にわたり津波警報が発令されるなど、「いつ、どのような。」災害が発生するかわかりません。日頃から家族や地域で防災について話し合い、災害対策を怠らないように心がけましょう。

## 地震への備え

当市は、日本有数の地震多発地帯です。政府の地震調査委員会は今後30年以内に震度6弱以上に襲われる地域として、当市を道内で最も高い確率の44・9%と発表しました。また、昨年から震度4の地震が3回発生しており、日頃から家庭などにおいて防災対策を行うことが大切です。

- ①家具や照明器具をしっかりと固定し、転倒や落下を防ぎましょう。
- ②窓や食器棚などのガラス部分には、飛散防止フィルムなどを貼っておきましょう。
- ③家の中に、地震時の逃げ場所となる安全なスペースを確保しましょう。（玄関や廊下など通路には家具や荷物を置かない。）
- ④テレビや花瓶などを、高い

ところに置かないようにしましょう。

⑤床に散乱したガラスなどで怪我をしないように、普段から厚手のスリッパの使用を心がけましょう。

## 風水害への備え

台風や大雨などは、天気予報により襲来時期や規模がある程度予測することがきるため、突然発生する地震とは異なりますが、自然災害の恐ろしさには変わりありません。昨年10月の低気圧では、市内各地での浸水被害や風による家屋等の一部損壊が多数発生しました。風水害への十分な注意も必要です。

- ①気象情報に注意しましょう。（重大な災害の発生が予想されるときには、「気象警報」が発表されます。）
- ②家のまわりの点検・整備・補強を行いましょ。
- ③強風時の外出は、極力控えましょう。
- ④海辺では、高波や高潮に巻き込まれる危険性があるので、近付かないようにしましょう。
- ⑤長雨や大雨のときには、土砂災害が発生しやすくなりますので、次のような兆候に注意しましょう。
  - ・斜面がびび割れたり、変形する。
  - ・小石が落ちてくる。

## 根室市総合防災訓練を実施します

**日時** 平成19年10月4日(木) 13時～15時

**場所** 根室市花咲港488-1 (東埠頭マイナス10 m岸壁背後地)

**参加機関** 根室市防災会議 (航空自衛隊、陸上自衛隊、根室会場保安部、根室警察署、根室市消防団、消防本部ほか12機関) その他協力機関

**訓練項目**

- ・人命救助訓練
- ・流出油除去訓練
- ・消火訓練
- ・傷病者搬送訓練など

※会場では、防災関係機関による災害派遣機材の展示や市民参加による消火器等を用いた初期消火訓練を予定しておりますので、市民皆様のご来場をお待ちしています。

**問合先** 市役所総務課総務係  
☎(23)61111番  
(内線2222)